



# 阿部光利

## 区議会活動レポート



平成29年9月11日から45日間にわたって開催された第3回定例会は、平成28年度台東区各会計歳入歳出決算の認定のほか、約9千万円の一般会計補正予算(第2回)、約6億円の一般会計補正予算(第3回)など議案15案件を可決し、10月25日に終了しました。

「努力したものが報われる」そんな社会の実現に向けて、全力で取り組んでまいります。

今定例会10月19日の決算特別委員会総括質疑で、区長に対して質問を行いました。(質問要旨を記載させて頂きましたので、ご覧ください)

## 平成30年度にむけた政策要望提出

11月17日、私が所属する会派「つなぐプロジェクト」は、「平成30年度にむけた政策要望」を区長に提出してまいりました。

この「政策要望」は、「誰もが住んでいてよかった」「住み続けたい」と思える台東区実現に向けて、来年度に台東区として取り組んでほしい施策をピックアップした内容になっています。今定例会開催中に、会派所属議員とヒアリングを行い、会議を重ねて決定いたしました。

今定例会の委員会や決算特別委員会、今後の一般質問や予算特別委員会などの審議を通して、行政に強く要望し、より良い台東区の実現に向けて取り組んでまいります。

### つなぐプロジェクトからの平成30年度にむけた政策要望(要旨)

#### I. 行政経営の推進

- (1) 公共施設などの使用料などの電子決済の推進
- (2) 広報機能を充実し、ブランド力の向上
- (3) 提案型協働事業の推進に向けて体制整備の推進
- (4) 区有施設の有効活用
- (5) 窓口サービスの向上

#### II. まちづくり政策

1. 災害対策
  - (1) 震災に強いまちづくりの推進
  - (2) 福祉避難所マニュアルの整備を促進
2. 環境
  - (1) 省エネ・再生可能エネルギーの積極展開
  - (2) 民間主導型シェアサイクルと連携
3. 住宅
  - (1) シルバーピアの増設など、高齢者住宅の拡充

#### III. 文化・伝統を活かした賑わい政策

1. 産業
  - (1) 地場産業の活性化支援の充実
  - (2) 産業におけるICTの積極活用
  - (3) 商工団体へのサポート体制の充実
2. 観光・文化
  - (1) ユニバーサルデザイン施策の推進
  - (2) 美化運動の推進
  - (3) おもてなし対応の強化

#### IV. 教育・子育て政策

1. 教育
  - (1) 基礎・基本の学力の定着と考える力の育成
  - (2) 生涯教育・スポーツの充実
  - (3) メディア・リテラシーの育成
2. 子育て
  - (1) 多様なニーズに対応できる保育サービスの拡充
  - (2) 要保護児童対策の充実

#### V. 健康・福祉政策

1. 健康
  - ・早期発見につながる、がん検診の充実
2. 福祉
  - (1) 在宅介護・看護へのサポート体制の充実
  - (2) 特別養護老人ホームの再整備
  - (3) 介護予防サービスの充実
  - (4) 障害者施設整備の充実

## 平成28年度台東区各会計決算を認定

決算特別委員会は、議会で承認された予算が、「如何に効率的効果的に予算が執行されたか、翌年度にどう反映させていくか」を審議する、極めて重要な役割を持っています。

今定例会では、「平成28年度一般会計」のほか、「国民健康保険事

業会計」「後期高齢者医療会計」「介護保険会計」「老人保健施設会計」「病院施設会計」など5つの特別会計の歳入歳出決算が、決算特別委員会での5日間の費目別質疑や、区長との対面方式で行われる総括質疑を経て、10月25日の本会議にて認定されました。

## 28年度の一般会計歳入総額は、約982億円

特別区税が、納税義務者増などにより、前年度に比べて約4億円の増収となりました。しかし、特別区交付金は、その財源である法人住民税の減などにより対前年比約8億円の減収。また、地方消費税交付金も、算定月数が前年に比べて1月減となったことなどにより約6億円減となるなど、歳入全体では前年度に対して、約20億円の減収となりました。

しかし、前年度からの繰越金が約39億円あったことや、約4億円の歳出減などもあり、当初予算で計上していた基金からの繰入

金約18億円をほぼ取り崩すことなしに、翌年度に約24億円の繰越を行うことが可能となりました。

会派内で質疑内容等の調整を行うなど、各決算をしっかりとチェックし、28年度決算を認定いたしました。

今後とも、すべての世代の人たちが住み続けたいと思える台東区をめざし、行政サービスのより一層の充実をはかるべく、全力を尽くしてまいります。